

2022年度

大阪樟蔭女子大学大学院
人間科学研究科修士課程

人間栄養学専攻

学生募集要項

長期履修制度・昼夜開講制度あり

目 次

1. アドミッションポリシー	P.1
2. 募集人員	P.1
3. 出願資格	P.1
4. 選考方法	P.3
5. 合否発表	P.4
6. 出願手続	P.4
7. 出願資格認定に関する事前審査	P.6
8. 注意事項	P.7
9. 身体に障がいのある方の出願	P.7
10. インターネット出願	P.8
11. 入学検定料支払方法のご案内	P.9
12. インターネット合否速報サービス	P.10
13. 入学手続と納付金	P.11
14. 給付奨学金について	P.12
15. 長期履修制度について	P.12
16. 昼夜開講制度について	P.12
17. インフォメーション	P.13
18. 研究指導教員および事前相談先	P.14
19. カリキュラム（2022年度予定）	P.17
20. 授業科目とその講義等の概要	P.18

入 試 日 程

選考区分	一 般 選 考 社 会 人 選 考 外 国 人 留 学 生 選 考	合 否 発 表
I 期	2021年9月18日（土）	2021年9月23日（木）
II 期	2022年2月26日（土）	2022年3月2日（水）

1. アドミッションポリシー

人間栄養学専攻は、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる条件を備えた人を求める。

- ①各専攻での学びを通じて、広い視野に立った学識ならびに専門的な技術を習得する意欲を有している。
- ②各専攻の示す要件を満たしている。
- ③人間栄養学専攻で勉強することを強く希望し入学を志を持っている。
- ④健康と栄養の関わりについて強い興味を持っている。
- ⑤一定の基礎学力を有し、学ぶことに意欲と情熱がある。
- ⑥人間栄養学専攻で能力を伸ばす可能性がある。
- ⑦入学後、何を勉強するのか明確な目的意識を持っている。

2. 募集人員

修士課程（標準修業年限2年※）

研究科	専攻	募集人数
人間科学研究科	人間栄養学専攻	8名

※修業年限について：志願者の個々の事情に合わせ、カリキュラムを組むことができるように、長期履修制度（最長4年）を設けています。（P.12参照）

※授業時間帯について：志願者の個々の事情に合わせ、働きながら通学できるように、昼夜開講制度を設けています。（P.12参照）

3. 出願資格

【一般選考】

■次の各号の一つに該当する女性

- (1)大学を卒業した者および2022年3月31日までに卒業見込みの者
- (2)大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者
- (5)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者
- ※(6)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (7)文部科学大臣の指定した者

【社会人選考】

■次の各号の(1)～(7)の一つに該当する女性で、最終教育機関を修了後2年以上の社会人経験のある者で、かつ(8)か(9)のいずれかを満たす者

- (1)大学を卒業した者
- (2)大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2022年3月31日までに授与される見

込みの者

- (3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者
- (5)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者
- ※(6)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (7)文部科学大臣の指定した者
- (8)学校・官公庁・団体・企業等で、出願時までに2年以上の就業経験があり、2022年4月1日に満24歳以上の者
- (9)教育・福祉・宗教・国際協力・ボランティア・芸術文化・その他何らかの社会的実践活動を、出願時までに2年以上経験した者で、2022年4月1日に満24歳以上の者

【外国人留学生選考】

■日本以外の国籍を有し、次の各号の一つに該当する女性

- (1)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (2)日本において外国人留学生として日本の大学を卒業した者および2022年3月31日までに卒業見込みの者
- (3)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者
- (4)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者
- ※(5)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (6)文部科学大臣の指定した者

なお、志願者は「日本語能力試験N1」または「日本語留学試験」を受験していることが望ましい。

※ は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等」が対象です。
これによって出願しようとする場合は、別途、出願資格認定に関する事前審査を行ないます。
(p.6「出願資格認定に関する事前審査」参照)

4. 選考方法

筆記試験、面接および提出された出願書類の総合判定。

【試験日時】

選考区分	試験日	試験時間	
		筆記試験	面接
I 期	2021年9月18日（土）	13：00～16：00	17：00～（予定）
II 期	2022年2月26日（土）		

【試験科目・試験時間割】（I 期・II 期共通）

選考	試験科目 ・ 時間	筆記試験		面接
		専門科目	語学または小論文	17：00～ （予定）
		13：00～14：30（90分）	15：00～16：00（60分）	
一般選考		2科目選択	英語 [※]	面接
社会人選考			小論文	
外国人留学生選考			日本語 [※]	

※語学の試験には、辞書の持込を認めます。（電子辞書不可）

■専門科目の選択

下記10科目から、入学後研究指導を希望する担当教員の科目と他の1科目を選択し、計2科目を受験してください。

「栄養化学」「栄養教育学」「解剖生理学」「公衆衛生学」「病態栄養学」

「栄養マネジメント学」「臨床栄養管理学」「臨床栄養発育学」「食品衛生学」「食品プロセス学」

※あらかじめ、受験しようとする2科目をインターネット出願時に選択してください。（出願後の変更は認めません。）

【試験会場】（I 期・II 期共通）

会場	所在地
大阪樟蔭女子大学 本学キャンパス	〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26 （近鉄奈良線「河内小阪駅」下車 西へ徒歩4分 JRおおさか東線「JR河内永和駅」下車 東へ徒歩5分） TEL. 06-6723-8274（入試広報課）

5. 合否発表

- ・合否の判定結果は、合否発表日に受験者全員に郵送（普通郵便）し、本人宛に通知しますが、郵便事情により遅延が発生する場合があります。
 - ・合否発表当日の10：00より、インターネット（スマートフォン・パソコン・携帯電話）による合否照会ができます。ただし、やむを得ぬトラブル等により遅れる場合がありますのでご了承ください。
- ※詳細はP.10をご覧ください。

選考区分	発表日
I 期	2021年9月23日（木）
II 期	2022年3月2日（水）

※志願者名・住所などに使用する漢字は、コンピュータ処理の関係上、すべて常用漢字で処理しますのでご了承ください。

6. 出願手続

- (1)受験を希望される方は、2022年度学生募集要項および専攻案内リーフレットを参照すると共に、研究内容などに関して、入学後研究指導を希望する教員に以下の手順に従って必ず事前に相談をした上で出願してください。

《事前相談申込方法》

大阪樟蔭女子大学入試広報課に電話で出願期間開始日までに申し込んでください。
 その際「大学院人間栄養学専攻の受験を希望している」旨をまず申し出てください。
 [連絡先] 06-6723-8274（直通） [受付時間] 9：00～17：00（平日のみ）

- (2)提出先および問い合わせ先 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
 大阪樟蔭女子大学 入試広報課
 TEL. 06-6723-8274（直通） FAX. 06-6723-8268
- (3)入学検定料 30,000円（振込済の入学検定料は、いかなる場合も返還しません。）

- (4)出願登録期間・入学検定料払込期限

選考区分	出願登録期間	入学検定料払込期限
I 期	2021年8月17日（火）～ 9月10日（金）15：00まで	登録した翌日の23：59まで ●ただし、登録最終日は9月10日（金）16：00まで
II 期	2022年1月5日（水）～ 2月18日（金）15：00まで	登録した翌日の23：59まで ●ただし、登録最終日は2月18日（金）16：00まで

- (5)出願方法 出願書類等一式を市販のA4サイズが入る封筒に同封し、入試広報課に郵送（速達・簡易書留）してください。（出願登録最終日必着）

(6)提出書類等（**二ツ折厳禁**） ※出願の際に提出した書類は、いかなる場合も返却しません。

提出書類	備 考
① WEB 入学志願票	(出願登録完了後ダウンロード・写真1枚貼付)
②最終学歴の卒業（見込み）証明書	(出身大学等の所定用紙)
③最終学歴の成績証明書	(出身大学等の所定用紙) □大学院修了（または在学）者は、出身大学および大学院の成績証明書を提出すること。
④研究計画概要	(本学ホームページからダウンロード) □志望理由および入学後の研究計画
⑤受験承諾書	(本学ホームページからダウンロード) ※ 在職のまま入学を予定している社会人のみ提出
⑥研究業績・活動実績等一覧	※提出は任意。現物不要。(様式任意)
⑦管理栄養士免許または 栄養士免許の写し	※ 管理栄養士免許または栄養士免許を有する者のみ提出 ※ 栄養士免許取得見込み者は、栄養士免許取得見込証明書を提出
⑧出願資格認定証の写し（コピー）	※事前審査により出願資格を認められた者のみ提出
⑨長期履修申請書	※ 希望者のみ （P.12参照）

※ WEB 入学志願票の学歴欄は高等学校以上の学歴を記入してください。

※写真は、縦4cm×横3cm、上半身・正面・背景無地、出願前おおむね3ヶ月以内に撮影した写真。

裏面に氏名を記入し、WEB 入学志願票の所定の位置に貼付してください。

※外国人留学生として出願する場合は、入学検定料の納入及び次にあげる書類を出願締切日までに提出してください。

健康診断書・身元保証書（保証人は、日本に住む身元確実な者で、留学生の身分及び学費等を保証し得る者）・履歴書・外国政府または在日外国公館が発行する留学資格証明書（在留資格4-1-6）または、監督庁が認める在留資格証明書

受験票は、出願完了メールが到着後にダウンロードできます。

※出願完了メールが出願登録期間終了後2日経過しても届かない、または受験票がダウンロードできない場合は、入試広報課（TEL. 06-6723-8274）まで連絡してください。

7. 出願資格認定に関する事前審査 《出願資格※に該当する者のみ》

P.1 ～ 2 の出願資格において※に該当する者については、事前審査を行ないます。

次の手順に従って、申込手続きをしてください。

- (1)申込先および問い合わせ先 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学 入試広報課
TEL. 06-6723-8274 (直通) FAX. 06-6723-8268

上記の大阪樟蔭女子大学入試広報課宛に、ファックス、ハガキ、電話のいずれかで申し込んでください。事前審査に必要な書類等をお送りします。

※ ファックス、ハガキの場合は、氏名（フリガナ）、郵便番号、住所、電話番号を明記してください。

- (2)事前審査申込期間・提出期間

選考区分	申込期間・提出期間
I 期	2021年8月11日（水）～ 8月24日（火）
II 期	2021年12月20日（月）～ 2022年1月18日（火）

〔締切日必着〕

- (3)提出方法 提出書類等を一括して封筒に入れ、「大学院事前審査書類在中」と明記し、郵送（**速達・簡易書留**）してください。

- (4)提出書類等（**二ツ折厳禁**）※事前審査の際に提出した書類はいかなる場合も返却しません

提出書類	備 考
①出願資格審査申請書	（本学所定用紙）
②履歴書	（様式任意）
③最終出身教育機関の卒業（修了・在学）証明書	（出身教育機関等の所定用紙）
④最終出身教育機関の成績証明書	
⑤最終出身教育機関の履修基準、授業科目表等	出身教育機関等の詳細がわかるもの
⑥研究業績・活動実績等一覧	※提出は任意。現物不要。（様式任意）

【事前審査を受験した場合の出願時提出書類】

事前審査により出願資格が認定された者は、P.5 「(6)提出書類等」のうち、すでに提出済みの書類（②、③、⑥）以外の書類と、「⑧出願資格認定証の写し（コピー）」を提出してください。

- (5)審査方法 書類審査

- (6)審査結果の通知 いずれも下記の日には審査結果を本人宛に郵送（速達）します。

選考区分	審査結果通知日
I 期	2021年8月28日（土）
II 期	2022年1月22日（土）

8. 注意事項

【出願時の注意】

1. 本学ではすべての入試においてインターネット出願を採用しています。詳しくはP.8もしくは別冊「インターネット出願ガイド」をご覧ください。
2. 提出書類は指定がある場合、本学所定の用紙を使用してください。
3. 黒のボールペンで記入してください。文字は楷書、数字は算用数字で、必要事項を正確に記入してください。誤記を訂正する場合は修正液等を使用せず、訂正した箇所に訂正印を押してください。
4. 詳しいお支払い方法については、インターネット出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。

【受験にあたっての注意】

1. 入学検定料支払後の変更はできません。
2. 試験会場内の下見はできませんが、キャンパスは開放していますので、事前に確認しておいてください。
3. 試験会場等、受験に関する注意事項は、当日受付で配付します。
4. 受験票は、ダウンロードし印刷して試験当日に必ず持参してください。
受験票を忘れた場合は、受付に申し出てください。
5. HB・Bの鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムを持参してください。
6. 試験場の受付は試験開始の1時間前です。試験開始15分前までに受付を済ませ、指定された試験会場で、各自の受験番号の席に着席して指示を待ってください。
7. 試験開始後30分以上経過した場合の遅刻は認めません。
8. 試験時間中の退出は認めません。
9. 試験は厳正に行い、万一不正行為があったと認められた者は不合格となります。
10. 試験会場に時計はありません。各自で用意してください。
11. 携帯電話などの通信機器は、試験室での使用を禁止します。
12. 計算機（時計などと併用するものを含む）等の使用はできません。
13. 試験当日の昼食は、各自で用意してください。（学内の食堂・売店は営業しません）
14. 入学試験に係る注意事項についてを必ず確認してください。

【その他】

本大学院では、栄養士の免許は取得できません。

9. 身体に障がいのある方の出願

入学試験時および入学後に特別な配慮を必要とされる場合は、必ず出願前に入試広報課（TEL. 06-6723-8274）にご相談ください。

10. インターネット出願

詳しくは別冊「インターネット出願ガイド」
をご覧ください。

ご利用にあたって、パソコンまたはスマートフォン・メールアドレス・プリンターが必要です。

STEP 1

インターネット出願サイトへアクセス



本学「受験生応援サイト」

<http://cheer.osaka-shoin.ac.jp>

※上記サイトから「インターネット出願」バナーをクリック。

スマートフォンの方は右の二次元バーコードからアクセス。



二次元バーコード

STEP 2

出願内容の登録



入試制度
の選択

志望専攻の
選択

出願内容
の確認

志願者情報
の入力

志願者情報
の確認

お支払
の手続き

①上記の手順で必要事項の入力・確認を行ってください。

②入学検定料のお支払い方法を選択してください。

画面に表示されるお支払いに必要な情報を控えてください。(払込番号・オンライン決済番号など)

STEP 3

入学検定料のお支払い



コンビニ店頭端末

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セイコーマート、
デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストアで
入学検定料を払い込んでください。

※入学検定料の他に払込手数料が必要です。

STEP 4

提出書類の準備



入学検定料のお支払い後に、登録されたメールアドレスに
「インターネット出願支払完了」メールが送付されますので、
メール内に記載のURLにアクセスして、WEB入学志願票を印刷します。
郵送に使用する封筒に貼り付ける「封筒貼付用宛名シート」も
印刷してください。

※印刷はすべて「A4」サイズとしてください。

STEP 5

書類の送付



印刷したWEB入学志願票に顔写真を貼り付け、最終学歴の卒業(見込み)証明書等の必要書類
を同封して郵便局窓口から郵送してください。(簡易書留・速達)

※出願封筒は市販の角2封筒(A4サイズが入る封筒)に印刷した「封筒貼付用宛名シート」を
貼り付けて郵送してください。

別冊「インターネット出願ガイド」をご覧ください。

注意!

- 出願内容の登録完了後の変更は一切できません。
- 入学検定料の支払い前に誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに新たに登録を行ってください。
(入学検定料を納入していない登録内容は自動で無効となります)

インターネット環境がない方はTEL.06-6723-8274<入試広報課>までご連絡ください。

出願期間中に
出願書類を
持参する場合

キャンパス窓口で出願を受け付けます。

(出願する大学院人間科学研究科・専攻にかかわらず受け付けます)

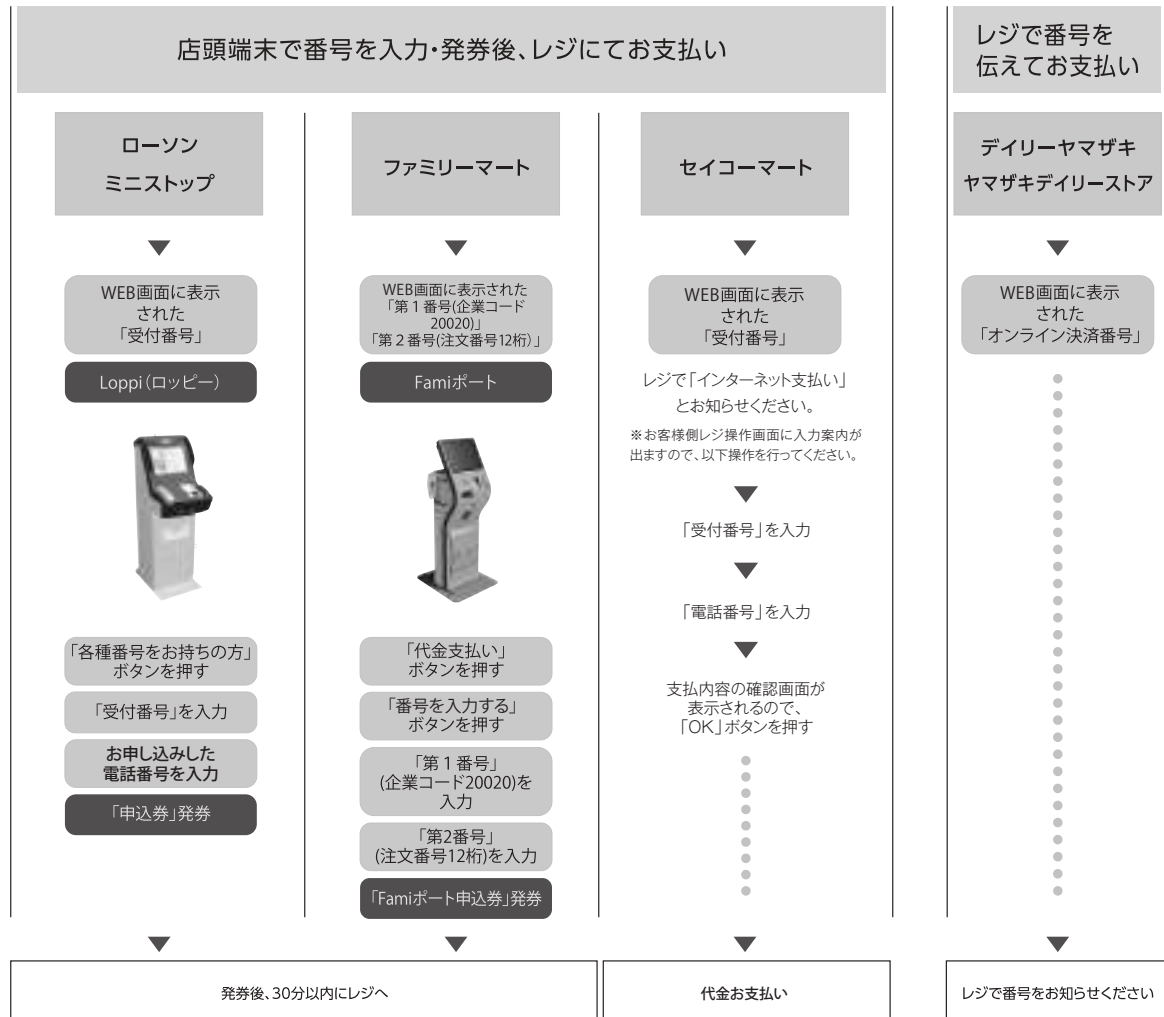
■ 入試広報課(本学キャンパス清志館2階、TEL.06-6723-8274に事前連絡のうえお越しください)

<受付時間>10:00~17:00 ※土・日・祝および夏期・冬期休暇を除く

11. 入学検定料支払方法のご案内

詳しいお支払い方法については、インターネット出願画面を参照してください。
入学検定料支払い後に出願登録内容の変更は一切できませんので注意してください。

コンビニ店頭端末の操作 ※下記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。



払込手数料

入学検定料が3万円未満	429円(税込)
入学検定料が3万円以上	594円(税込)

- 入学検定料の他に別途、払込手数料が必要です。
- コンビニ設置のATMはご利用いただけません。
- 一度納入した入学検定料は、理由の如何にかかわらず返金いたしません。
- コンビニエンスストアでは、1回につき総額30万円を超える支払いはできません。
- お支払い金額が5万円以上の場合、別途事務手数料が必要です。

12. インターネット合否速報サービス

- ・合否の判定結果は、合否発表日に受験者全員に郵送（普通郵便）し、本人宛に通知しますが、郵便事情により遅延が発生する場合があります。
- ・照会が可能となるのは、いずれも合否発表日の10：00からです。照会可能期間は次の通りです。

選考区分	発表日	照会可能期間
I 期	2021年 9 月23日（木）	2021年 9 月23日（木）10：00から 2021年 9 月26日（日）24：00まで
II 期	2022年 3 月2日（水）	2022年 3 月2日（水）10：00から 2022年 3 月5日（土）24：00まで

スマートフォン・携帯電話 およびパソコンで合否の確認ができます。

●合否速報サービス利用上の注意

- ・当サービスでの発表は速報であり、正式な合否は大学から郵送される書類にて確認してください。
- ・当サービスの「誤操作」「見間違え」等を理由とした、入学手続きの遅れは認められません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。
- ・スマートフォン以外の携帯電話は一部機種で表示されない場合があります。
- ・機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。
- ・試験会場の外で合否発表に関する案内を本学教職員が行うことはありません。類似のサービスにはご注意ください。

※期間外は見ることができません。

合否の確認方法

以下のURLまたは携帯電話用二次元バーコードからアクセスしてください。

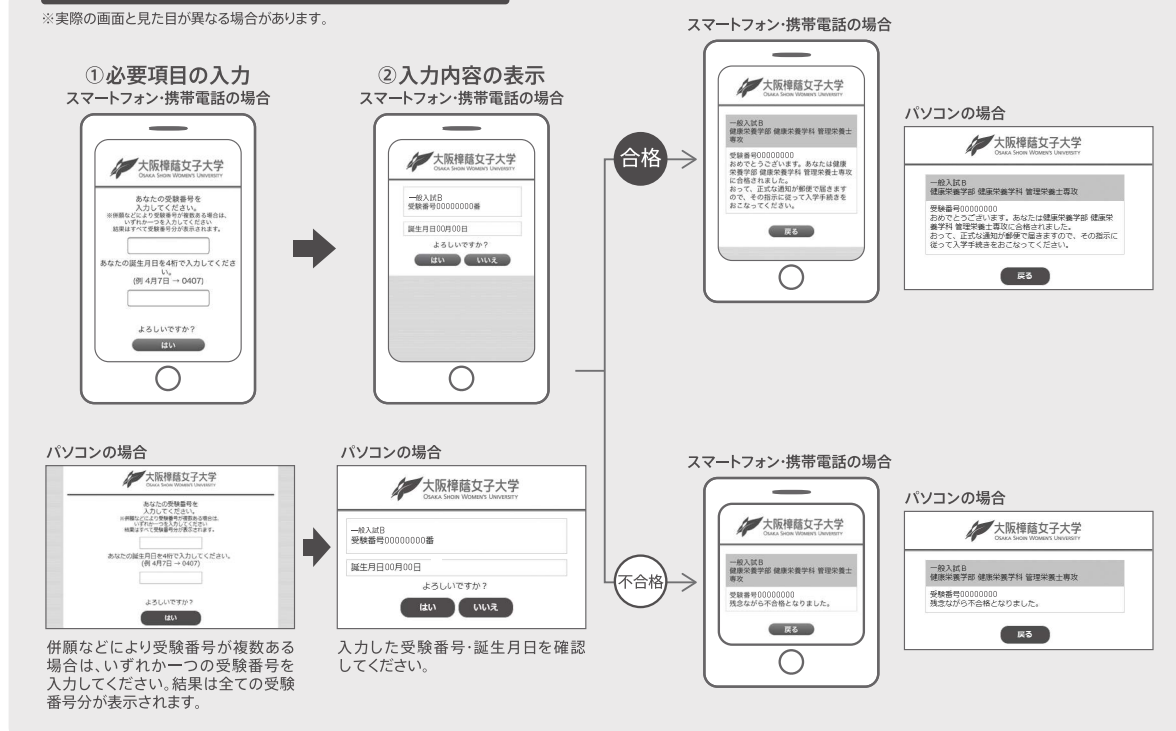
<https://www.postanet.jp/gouhi/012211/>



二次元バーコード

スマートフォン・携帯電話・パソコンによる合否確認方法

※実際の画面と見た目が異なる場合があります。



13. 入学手続と納付金

- ・合格者は合格通知書とともに郵送する「入学に関する注意事項」に従って、入学手続を完了してください。
- ・入学手続に必要な納付金（入学金、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料）を、手続期限までに納入してください。入学後に必要な納付金は下記のとおりです。
- ・既納の納付金は、理由の如何を問わず返還しません。

【入学手続期限】

選考区分	入学手続締切日
I 期	2021年10月9日（土）
II 期	2022年3月16日（水）

【納付金】（標準修業年限2年で受講の場合）

●入学手続に必要な納付金

（単位：円）

内 訳	入 学 金		280,000※2
	諸 費	学生教育研究災害傷害保険料※1	1,400
		学研災付帯賠償責任保険料※1	680
		入学手続時納付金合計	

※1 学生教育研究災害傷害保険料と学研災付帯賠償責任保険料は2021年度実績です。

※2 大阪樟蔭女子大学卒業後、本学大学院に入学する者は、入学金を半額（140,000円）とします。

●入学後に必要な納付金

〔春期納付金は2022年5月23日(月)に指定の口座より引き落としされます〕

（単位：円）

人間栄養学専攻 (2022年度予定)		1 年次春期分	1 年次秋期分
授 業 料		300,000	300,000
施 設 費		70,000	70,000
諸 費	後 援 会 費	6,000	6,000
	学 友 会 費	3,000	3,000
	同 窓 会 費	10,000	入学時のみ納入
合 計		389,000	379,000
入学後納付金合計		768,000	
1 年次納付金合計		1,050,080	

※同窓会費は、中途退学の際全額返還します。（樟蔭高等学校および大阪樟蔭女子大学出身者は不要）

※学外実習費などは別途徴収します。

14. 給付奨学金について

本大学院は熱意ある学生の研究活動を支援するため、独自の給付奨学金制度を設けています。推薦制と公募制があり、給付額はともに30万円です。詳しくは本学ホームページをご覧くださいか、**キャンパスライフサポート (TEL. 06-6723-8279)** までお問い合わせください。

15. 長期履修制度について

長期履修制度は、仕事と両立しながら学業にじっくりと取り組みたい社会人に配慮した制度です。この制度を活用した場合、通常の年限（2年）の授業料で3年から4年にわたって大学院の授業を履修することができます。また、標準修業年限2年の場合に支払うべき授業料等総額を、在籍年数に合わせて分割納入することになりますので、年間の学費負担を軽減することができます。長期履修制度については出願時に申請していただきます。詳しくは、**入試広報課 (TEL. 06-6723-8274)** までお問い合わせください。別途、資料をお送りします。

16. 昼夜開講制度について

昼夜開講制度は、社会人が働きながら無理なく通学できることを最優先に考え、授業時間帯を平日の夕方以降や土曜日の昼間を中心に配置しています。一部の科目については土日や長期休暇期間などを利用した集中講義形式で授業を展開します。詳しくは、**入試広報課 (TEL. 06-6723-8274)** までお問い合わせください。

※本専攻では、6 講時：18：20～19：50、7 講時：20：00～21：30を中心に授業を開講します。一部科目は、5 講時：16：20～17：50にも開講。土曜日は昼間開講となります。

17. インフォメーション

【入学許可の取り消しについて】

- ・所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を許可しません。
- ・出願書類および入学手続書類に虚偽の申請があると判明した場合は、入学の許可を取り消します。

【納付金返還制度（入学金を除く諸費の返還について）】

既納の納付金は理由の如何を問わず返還しません。ただし、入学手続完了後、何らかの理由で本学への入学を取りやめた者を対象に、入学金以外の納付金（一部諸費）を返還する『納付金（一部諸費）返還制度』を設けています。返還を希望する者は、2022年3月31日（木）[当日消印有効]までに「入学辞退届・入学手続時納付金返還願」（合格通知書に同封）を提出してください。

【個人情報の保護について】

大阪樟蔭女子大学大学院では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、出願に際して志願者から提供された個人情報については、安全管理のために必要な措置を講じています。提供された個人情報は、入学選考の際の連絡や合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。また、入試統計資料の作成のため、個人を特定しない形で利用することがあります。

入学後は、入学者データとして、氏名・住所・電話番号および保証人の氏名・住所・電話番号について、次の団体が本学と共同して利用させていただきます。この場合、会員への案内・機関紙発送等を目的とするもので、これらの関係団体も、個人情報の安全管理については大阪樟蔭女子大学大学院と同様の安全管理措置を講じています。

●大阪樟蔭女子大学大学院と合格者の個人情報を共同して利用する団体

同窓会	後援会	大学生協（任意）	樟蔭エンタープライズ
卒業生の親睦団体であり、卒業と同時に会員となっていました。	保護者・保証人で構成される後援組織であり、保護者・保証人の方々にご加入いただいております。	営利を目的とせず、組合員の大学での生活向上のため運営されており、入学者は組合員となっています。	学校法人樟蔭学園が100%出資して設立された会社です。学生総合保障制度等のご案内をさせていただきます。

【寄付金について】

本学では教育研究条件の設備充実のために、寄付金を募集しております。ただし、すべて任意で入学前には募集いたしておりません。詳細につきましては、入学後あらためてご案内申し上げます。

【給付奨学金について】

本大学院独自の給付奨学金制度があります。詳しくは本学ホームページをご覧ください。か、キャンパスライフサポート（TEL. 06-6723-8279）までお問い合わせください。

18. 研究指導教員および事前相談先

受験希望の方は、次の【表1】の「研究指導内容」を参考に、ご自身の希望する研究内容を決めた後、研究内容の確認のため、「担当者」欄の教員に事前連絡をしてください。（連絡先：P.16参照）
また、試験科目のうち、専門科目における出題分野および担当者は、P.16【表2】のとおりです。

【表1】研究演習科目における各教員の研究指導内容

科目区分	授業科目名	概要
研究演習科目	人間栄養特殊研究	研究指導スケジュールに従って、修士論文作成に係わる研究指導を行なう。具体的には、(1)テーマの設定 (2)文献調査によるテーマ周辺の情報収集 (3)研究方法の決定 (4)研究の実施 (5)得られた結果の解析と考察 (6)修士論文作成 (7)修士論文発表、である。これらの取り組みを通じて、人間栄養学関連分野の研究遂行能力の育成をはかる。
栄養分野		
担当者		研究指導内容
井 尻 吉 信 教授		本研究室では、管理栄養士による栄養食事指導を無床診療所（クリニック）や調剤薬局に普及させていくことを目的とした研究を行っている。具体的には、「各施設における患者実態・ニーズ調査」や「継続性がありかつ効果的な栄養食事指導方法の確立」を目指す。
木 村 雅 浩 教授		定期健康診断における有所見率は年々上昇しており、50%を超えている。このうち約6割を血中脂質検査（LDL コレステロール、HDL コレステロール、血清トリグリセリド）が占めている。そこで、栄養化学研究室では、血清脂質改善効果（総コレステロール、LDL コレステロール低下作用、HDL コレステロール上昇作用）が期待できる食品成分について研究している。現在のところ、候補食品成分として抗酸化物質に焦点をあてて研究を進めている。
鈴 木 朋 子 教授		「健康教育・ヘルスプロモーションに関する実践的研究」 食行動をはじめとした人々の健康行動は、日常生活の繰り返しのなかで習慣化される。疾病の一次・二次予防を促進するには、人々が健康的な生活習慣を実践し、不健康な習慣を健康的な方向へと修正する必要がある。管理栄養士や栄養教諭などの専門職は、健康行動の獲得や行動変容支援の担い手として期待されている。このような視点から、対象者に適した健康支援のあり方や方法について、健康教育・ヘルスプロモーションの理論を基礎に研究を行う。
三 輪 孝 士 教授		ダイナミックに進む臨床病態に対して、適切な栄養評価法による栄養療法を実践するための栄養管理プロセスが構築できることを目指す。さらに、近年は地域包括ケアシステム推進のための取り組みの中ががん、摂食・嚥下機能低下、低栄養の対象者に対する食事を指導することが必要とされることから、全身状態からみた栄養マネジメントの実践方法について研究を行う。

保健・医療分野	
担当者	研究指導内容
開 道 貴 信 教授	神経細胞自体はブドウ糖を栄養素とするが、全身は様々な栄養素のバランスが必要であり、栄養摂取のバランスについて脳が担う部分は大きい。栄養素が脳神経にもたらす作用及びそして脳神経が全身の栄養状態にもたらす作用について知ることは個体の生命維持作用の向上のために重要であるが、未知の部分も多い。我々は、ヒトや動物において、様々なアプローチで、こうした神経と栄養の関わりについて、未知の作用を解明することを目指す。
津 川 尚 子 教授	「加齢性疾患の予防を目指した脂溶性ビタミンの生命科学研究」 超高齢社会を迎えた日本において加齢性疾患の予防は重要な課題である。脂溶性ビタミンのうちビタミンDとビタミンKには骨折予防という共通の機能があり、また、最近の研究から両ビタミンが加齢性疾患である心血管疾患や動脈硬化、がん細胞や脳神経細胞の増殖・分化に関与することが明らかになってきた。このような背景から、加齢性疾患に関連する脂溶性ビタミンの機能を分子生物学的に研究するとともに、栄養疫学研究を実施し、栄養改善による加齢性疾患の予防と治療効果の向上に貢献することを目指して研究を行う。
三 善 陽 子 教授	近年、我々を取り巻く生活環境は急激に変化し、「新しい生活様式」が求められている。発育途上にある小児にとって、適切な栄養摂取が欠かせないが、生活習慣、とりわけ食生活の乱れにともない様々な健康問題が生じている。本研究室では、小児の健康状態の評価として成長発育に注目した研究を行う。また、がん患者の長期フォローアップや、小児期から成人期への円滑な移行（トランジション）に関する研究にも取り組んでいる。

食品分野	
担当者	研究指導内容
一 條 知 昭 准教授	「ヒトが健康で安全に、安心して生活できる基盤を確保する」をテーマとして、ヒトと微生物、そして食に関係する環境との関係を考究する。食の安全・安心を保証するためには、「農場から食卓まで（Farm to the table）」の各段階において、適切な衛生微生物学的評価が重要である。しかし、現在広く用いられている培養を基本とした微生物検出法では、評価にあたって克服すべき課題がある。そこで、食品分野における新たな微生物管理手法として、培養に依存しない微生物迅速試験法の可能性について検討を進める。
稲 垣 秀一郎 准教授	加工食品の一種である発酵食品は、製造に用いられる発酵微生物の影響を受けて大規模な成分変化が生じ、原材料にはない性質が付与されている。近年注目されている発酵食品の健康機能も、微生物による発酵の恩恵を受けたものである。本研究室では、発酵食品の機能性に焦点をあて、機能性付与のメカニズムと発酵による成分変化との関連性を解き明かすことを目的に研究を行っている。また、このような基礎的な研究成果から、機能性に着目した新たな発酵食品や機能性食品の開発を目指している。

【表2】専門科目および出題担当者

出題科目の分野	担 当 者
臨床栄養管理学	井尻 吉信 教授
解剖生理学	開道 貴信 教授
栄養化学	木村 雅浩 教授
栄養教育学	鈴木 朋子 教授
公衆衛生学	津川 尚子 教授
病態栄養学	保木 昌徳 教授
臨床栄養発育学	三善 陽子 教授
栄養マネジメント学	三輪 孝士 教授
食品衛生・微生物学	一條 知昭 准教授
食品プロセス学	稲垣秀一郎 准教授

【事前相談先】

大阪樟蔭女子大学（大学院）
入試広報課
TEL. 06-6723-8274
受付時間：9：00～17：00（平日のみ）

※出願登録開始日までに申し込んでください。
その際、人間栄養学専攻受験希望の旨、
電話対応者にお伝えください。

19. カリキュラム（2022年度予定）

【人間科学研究科人間栄養学専攻（修士課程）】

科 目 区 分	開設予定科目	配当学年	必修・選択必修	授業方法	単 位
共 通 科 目	人間科学研究方法論	1	必修	A	2 単位
研究基礎科目	人間栄養学研究	1	必修	A	2 単位
研究展開科目	基礎医学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	栄養化学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	運動生理学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	食品化学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	調理科学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	食品プロセス学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	食品衛生・微生物学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	臨床栄養発育学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	病態栄養学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	応用栄養学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	栄養マネジメント学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	栄養教育学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	公衆栄養学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	公衆衛生学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	給食経営管理学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
	臨床栄養管理学研究	1 ・ 2	選必	A	2 単位
研究実習科目	人間栄養実践研究	1 ・ 2	必修	C	4 単位
研究演習科目	人間栄養特殊研究	1 ～ 2	必修	B	12 単位
		合 計		30単位	
		修了要件			

※各科目の開講時期（春期・秋期）は未定

※授業方法 A：講義、B：演習、C：実験・実習

※年度によって非開講の科目もある。

〈臨床栄養師に関する科目〉

臨床栄養師必修科目として臨床栄養師講座（1～2年配当）を設けている。

20. 授業科目とその講義等の概要

(専任教員の紹介は、専攻案内リーフレット参照)

共通科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
人間科学研究方法論	津川尚子教授 小林政司教授 奥田亮准教授	本科目においては、人間科学研究科の3つの専攻、すなわち、①現代社会における心の問題に関する教育研究を行う臨床心理学専攻、②現代社会における食の産業と健康に関する教育研究を行う人間栄養学専攻、および、③現代社会における身体と身体美、および身体によそおいに関する教育研究を行う化粧ファッション学専攻の教員が、各専攻に固有の学問的方法論とこれまでの成果、ならびに最新の知見を検証することによって、研究科共通の目的「生活の質の向上」に資する人材養成の機能を促進させる。
研究基礎科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
人間栄養学研究	井尻吉信教授 開道貴信教授 木村雅浩教授 鈴木朋子教授 津川尚子教授 三善陽子教授 三輪孝士教授 一條知昭准教授 稲垣秀一郎准教授	食物栄養学の知識を、人間の心身の健全な発育・成長と疾病予防に活用する為に、人間を中心に置いて、食物と生体との関わりを総合科学的に学ぶ事の意義について理解する。現代社会が直面しつつある「食」と「健康」に係わる課題についてオムニバス方式で問題提起し、人間栄養学研究の視点と方向性を習得する。併せて、本課程が包括する人間栄養学の応用・実践に向けての方向性を医療・食品・保健の視点からそれぞれ教示し、履修動機を高める。
研究展開科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
臨床栄養管理学研究	井尻吉信教授	糖尿病、高血圧症、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の概要とそれらの疾患別栄養食事療法の実践について学ぶ。さらに、患者タイプ別の栄養食事指導方法についても概説し、患者を想定した模擬栄養指導を行った後にディスカッションを行う。
基礎医学研究	開道貴信教授	基礎医学は人類の健康向上の礎である。これまで基礎医学者の先人による様々な偉大な研究業績があるが、こうした研究はなぜどのように実施され、成し遂げられたのか、そして現代の生活とどのように結びついているか、という事実を振り返ることは、基礎医学の重要性を知り、科学の社会の中での位置付けを学び、これから研究者として研究を進めていくための知恵を得るために重要である。また近年捏造や剽窃などの研究における不正行為への批判も叫ばれる中、研究倫理の重要性を十分学んでいく。
栄養化学研究	木村雅浩教授	生体内でおこる主要な代謝過程には、グリコーゲンの合成分解、解糖系、糖新生、脂肪酸の合成分解、TCA 回路、ケトン体合成、尿素合成などがある。これらの代謝過程について最低限知っておくことは、以下の3点である。 ①どの臓器で活発に行なわれる代謝であるか、②いつ（どのような栄養状態）で活発におこなわれるのか、③どのようにコントロールされ、臓器間で協調しておこなわれているのか、である。これを目的に、飢餓－摂食サイクルについて講義し、演習問題を通して考え方を伝えたい。

栄養教育学研究	鈴木 朋子 教授	食行動をはじめとした人々の健康行動は、日常生活の繰り返しのなかで習慣化される。疾病の一次・二次予防を促進するには、人々が健康的な生活習慣を実践し、不健康な習慣を健康的な方向へと修正する必要がある。そこで本科目では、対象者に応じた栄養教育プログラムを総合的にマネジメントするために必要な知見を多角的に深めていくこととする。実践事例等を交えながら、アセスメント、計画、実施、評価・フィードバックの各段階について、その理論的基礎について考察する。
公衆衛生学研究	津 川 尚 子 教授	公衆衛生学とは、社会集団を対象として健康の調査を行い、健康を妨害する様々な脅威を分析する学問である。また、これを通して健康維持、疾病予防、健康寿命の延伸、身体的・精神的機能の増進を図ることが重要であり、その実施には疫学や生物統計学などの解析技術が必要となる。本講義では栄養疫学における研究デザインと研究結果の評価指標や統計解析法について講義し、疫学研究論文の読み方や研究成果のまとめ方を学ぶ。また、健康増進のために研究成果を社会還元する方法についても討議する。
臨床栄養発育学研究	三 善 陽 子 教授	小児の健全な発育には適切な栄養摂取が必須である。小児の成長発育の基本について学ぶと共に、低身長・肥満・やせを含む成長に関わる疾患の病態について理解を深める。また、現在国民の二人に一人が生涯のうちに「がん」に罹患する時代であることから、がんの治療が終了したサバイバーの健康問題や、小児期から成人期への移行期医療の問題についても理解を深めていく。
栄養マネジメント学研究	三 輪 孝 士 教授	臨床の場において、疾病治療の一助として患者の栄養状態を正確に把握し、これを管理する重要性は広く認識されている。また、近年の高齢化が進む中、対象者の今ある状態を悪化させないための維持や健康に向かわすための栄養評価の実践には、栄養状態を把握するための多くの手法が用いられている。これまで実践されている栄養ケア・マネジメントの科学的根拠について、研究論文抄読やディスカッションを通して、対象者にマッチさせた栄養管理プロセスが構築できるよう知識・技術を修得する。
給食経営管理学研究	赤 尾 正 准教授	給食は、特定集団を対象にした栄養管理の実施プロセスにおいて食事を提供すること及び提供する食事のことで定義されている。給食現場において求められる、健康・栄養状態の維持・改善・向上やQOL向上の実践を目標とし、利用者の特性をふまえた適切な対応を行うための幅広い知識、技術、マネジメント・経営スキル（経営、会計・原価、組織）を学び、経営資源（人・物・金・情報など）の活用方法について事例を通して理解を深める。
食品衛生・微生物学研究	一 條 知 昭 准教授	食品の衛生微生物学的な安全性の確保のためには、科学的知見にもとづいた衛生管理が必須である。このことは、私たちが健康な生活を営むうえでの基盤となる。コッホやパスツールの時代から100年以上続く培養を基本とした微生物学が、近年の技術の進歩とともに大きく変わろうとしており、従来とは異なる視点での微生物管理が可能となりつつある。そこで本講義では、いま過渡期を迎えている微生物学を概説するとともに、研究論文の抄読を通じて国内外の現状の理解をめざしていく。
食品プロセス学研究	稲 垣 秀一郎 准教授	食品の加工は、時代によりその目的の変遷が見られており、古来には自然界に存在する動植物を摂取可能な状態にすることや、保存性の向上が主な目的であったが、近年ではより利便性を追求するためのものや、さらには機能性を付与させるための加工も行われている。本講義では、食品加工の歴史や目的、手法を学び、現代において求められる食品加工の重要課題に焦点をあてる。また、食品加工と機能性に関わる論文を抄読し、議論することで、結果の解釈や方法論を理解するための力を身につける。

運動生理学研究	武 田 ひとみ 講師	運動時の生理機能の反応や運動習慣を継続することによる身体構造や生理機能の変化、ライフサイクルや心身両面における運動の影響を十分理解することは人間の健康を考える上で非常に重要である。これらの知識を栄養、食品に関する知識とうまくリンクさせて全人的な見地に立って健康指導や健康問題を研究する力をつけさせたい。
研究実習科目		
授業科目名	担当者	講 義 等 の 概 要
人間栄養実践研究	井 尻 吉 信 教授 開 道 貴 信 教授 木 村 雅 浩 教授 鈴 木 朋 子 教授 津 川 尚 子 教授 三 善 陽 子 教授 三 輪 孝 士 教授 一 條 知 昭 准教授 稲 垣 秀一郎 准教授	1年～2年次の実践研究に向けて、学生の就業希望先を想定した医療・食品・保健の分野より実習先の希望調査を行ない、その希望から実践的な学習の場を設定する事により、学部教育、さらには大学院1年次に修得した知識を、実社会の現場で活かし得る技能・態度を身に付けさせる。現場のスタッフと本学教員スタッフと協働により、適宜実習報告書を提出させ、実習教育内容の確認・充実を図る。 また、課題研究は、本実習と関連付けるため、実習先での業務全般及び実習業務につき、資料収集・分析等を行ない、適宜研究会等を開催し、教育効果の向上及び研究内容の充実を図る。
研究演習科目		
授業科目名	担当者	講 義 等 の 概 要
人間栄養特殊研究	井 尻 吉 信 教授 開 道 貴 信 教授 木 村 雅 浩 教授 鈴 木 朋 子 教授 津 川 尚 子 教授 三 善 陽 子 教授 三 輪 孝 士 教授 一 條 知 昭 准教授 稲 垣 秀一郎 准教授	(詳細：P.14～15)

2022年度大阪樟蔭女子大学

入学試験に係る注意事項について

大阪樟蔭女子大学の入学試験におきましては、受験生の皆さまの健康と安全面に注意を払い、感染症予防策を講じた上で入学試験を実施させていただきます。新型コロナウイルス感染症等における入学試験の対応について受験生の皆さまは以下の点にご留意ください。

入学試験前

- ☐ 発熱・咳などの症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診し、医師などの指示に従ってください。
- ☐ 感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹等）に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない方は、感染拡大防止の観点から受験できません。該当する受験生は、入学試験当日までに本学入試広報課までご連絡ください。なお連絡なく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います。

入学試験当日

- ☐ 入学試験当日は自主検温を行い、37.5度以上の熱がある場合は受験を取りやめてください。該当する受験生は、必ず本学入試広報課までご連絡ください。
- ☐ 37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験場の本学教職員に必ず申し出てください。また、試験中に体調不良になった場合は、試験監督等の本学教職員へ速やかに申し出てください。
- ☐ 感染予防対策のため、試験場内では昼食時以外は常にマスクを着用してください。
※ただし、試験開始前の写真照合の際、試験監督が指示したときは一時的にマスクを外していただきます。
- ☐ 試験場出入口、試験室等にアルコール消毒液を設置しますので、入退室の際は手消毒を行ってください。
- ☐ 試験場への入場者数抑制の観点から保護者控室の設置はしません。ただし、受験上の配慮で付添や介助が必要と認められた場合は、受験生と同等の感染予防を講じることを条件に付添人、介助人の入講を認めます。

入学試験当日の服装、昼食

- ☐ 入学試験当日、試験室の換気のため窓やドアの開放を行うため、必要に応じて上着等を持参し、温度調整ができるようにしてください。
- ☐ 入学試験当日、食堂の営業は行いません。必要に応じて昼食を持参し、自席で食事をとってください。

